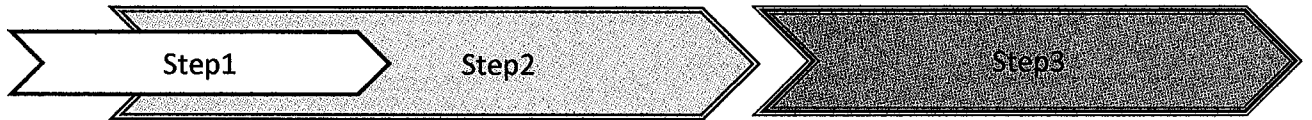


法律学科 履修モデル

【基礎法学モデル】

基礎法学(法の歴史、法思想、法哲学、法社会学、比較法学)に関心のある学生向けの履修モデル

1年次	2年次	3・4年次			2年次	3・4年次
統治の原理 I 統治の原理 II 民法 I a(総則①) 民法 II(物権)	人権保障の原理 I 人権保障の原理 II 刑法総論 I 刑法総論 II 民法 I b(総則②) 民法 III a(債権総論①) 民法 III b(契約) 民法 VI a(親族) 民事訴訟法 会社法 I 会社法 II	刑法各論 I 刑法各論 II 民法 VI b(相続) 刑事訴訟法 I 刑事訴訟法 II 会社法 III	+	展開科目 基礎法学	西洋法史 I 日本法史 I 西洋法思想史	西洋法史 II 日本法史 II 近代法思想の展開 法哲学 現代法哲学の展開 法社会学 現代法社会学の展開 東洋法史 I 東洋法史 II 英米法総論 アメリカ法 イギリス法 ドイツ法 フランス法
基礎科目	展開科目					



Step1

各法領域の基礎的な知識を身に付けるために基礎科目を履修する。

Step2

展開科目のうち、基礎法学を学ぶ前提として、実定法科目の中から履修が推奨される講義科目を配置している。各自の問題関心に合わせて、選択履修するとよい。

Step3

「基礎法学」展開科目のうち、法の歴史、法思想、法哲学、法社会学、比較法学などの基礎法学を勉強し、法に係る根本的な問題について探求したい人のために履修が推奨される講義科目を配置している。各自の問題関心に合わせて選択履修するとよい。